

作成日：2023/08/31
改訂日：YYYY/YY/YY

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称、品番 : アイカエコエコボンド SE-100
供給者の会社名称 : パナソニックハウジングソリューションズ株式会社
住所 : 大阪府門真市大字門真1048番地
電話番号 : 06-6908-6563 (水廻りシステム事業部 商品開発部)

項目2以降については別添参照

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

	[供給者]	会社	アイカ工業株式会社
		住所	愛知県あま市上萱津深見24番地
		担当部門	化成品カンパニー 品質管理グループ
		電話番号	052-443-4811 FAX番号 052-443-4825
		緊急連絡先	担当部門に同じ
整理番号:	DSE-0257-3	改訂日	2021年 3月 12日
		作成日	2017年 11月 17日

化学品の名称 アイカエコエコボンド SE-100
(化学名, 商品名)

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

可燃性固体	区分に該当しない
急性毒性 (経口)	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	区分に該当しない
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分1 呼吸器

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素:

・絵表示



・注意喚起語 危険

・危険有害性情報

長期または反復暴露による臓器の障害 (呼吸器)

・注意事項 (GHS対応表記)

安全対策	粉じん・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。 取扱後は手をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
救急措置	気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
廃棄	内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:	混合物
化学名又は一般名:	変成シリコーン樹脂

成分及び含有量:

成分名	含有率 (%)	CAS No.	化審法
変成シリコーン樹脂 等	30~40	—	既存
無機充填材	60~70	—	既存
ジアルキル錫化合物	0.2~0.8	—	既存

本製品には厚生労働省指定13物質は使用していません。

4. 応急措置

目に入った場合:	・清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合:	・付着物を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。 ・かゆみ、炎症が出た場合は、ただちに医師の診断を受ける。
吸入した場合:	・空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合:	・医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法：	<ul style="list-style-type: none"> ・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。消火には水スプレーにてタンク等の冷却を行う。 ・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
消火剤：	水 []，二酸化炭素 [○]，泡 [○]，粉末 [○]，乾燥砂 [○] その他 ()
使ってはならない消火剤：	

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置：	<ul style="list-style-type: none"> ・保護眼鏡，保護手袋，防毒マスク等を着用して作業する。
環境に対する注意事項：	<ul style="list-style-type: none"> ・漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。 ・付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。多量の場合には、流路を盛土などで囲って流出を防止する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	<ul style="list-style-type: none"> ・少量の場合は紙，布，砂などに吸収させ、フタ付きの器等に回収する。 ・多量の場合は火花の出ないシャベル等で空容器等にすくい取る。 ・漏洩物中には滑り事故を引き起こすものがあるため、適切な方法で除去する事。自然発熱が起こる可能性があるため、除去作業に使用したウエス、砂などは適切な方法で廃棄すること。 ・流出，その他の事故が発生した時は、警察署，消防署等の関係機関に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚に触れないよう保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。 ・取扱い後は手洗いを充分に行う。 ・硬化時にアルコールが発生する。引火性があるため火気厳禁で取り扱う。
保管：	<ul style="list-style-type: none"> ・容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。 ・直射日光を避け、容器を密閉し、冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露濃度基準：	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成分名</th> <th>管理濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">特になし</td> </tr> </tbody> </table>	成分名	管理濃度	特になし	
成分名	管理濃度				
特になし					
設備対策：	蒸気，ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。				
保護具：	呼吸用保護具：有機ガス用防毒マスクを着用する。 保護眼鏡：保護眼鏡を着用する。 保護手袋：PE，ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。 保護衣：長袖作業衣等を着用する。				

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	ペースト状
色：	薄灰色
臭い：	わずかにあり
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	測定できない
動粘性率：	データなし
溶解度：	水に不溶
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	約1.4g/cm ³ (23°C)
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：	通常の手扱い条件では反応性はない。
化学的安定性：	通常の手扱い条件では安定。
危険有害反応可能性：	通常の手扱い条件では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件：	高温、火気、スパーク。
混触危険物質：	酸、アルカリ、酸化剤
危険有害な分解生成物：	知見なし。

11. 有害性情報

[GHS分類] 急性毒性：	経口：混合物の急性毒性推定値は2000mg/kg以上。 経皮：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。 気体：本製品は常温で固体のため分類対象外。 蒸気：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。 粉じんおよびミスト：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
皮膚腐食性／刺激性：	混合物の、皮膚腐食性区分2以上に該当する成分濃度は1%未満。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：	混合物の眼に対する重篤な損傷性データが不十分のため、分類できない。
呼吸器感作性：	混合物の呼吸器感作性データが不十分のため、分類できない。
皮膚感作性：	混合物の皮膚感作性データが不十分のため、分類できない。
生殖細胞変異原性：	混合物の、生殖細胞変異原性区分2以上に該当する成分濃度は0.1%未満。
発がん性：	混合物の、発がん性区分2以上に該当する成分濃度は0.1%未満。
生殖毒性：	混合物の、生殖毒性区分2以上に該当する成分濃度は0.3%未満。
特定標的臓器毒性（単回暴露）：	混合物の特定標的臓器毒性（単回ばく露）データが不十分のため、分類できない。
特定標的臓器毒性（反復暴露）：	混合物の、特定標的臓器毒性（反復ばく露）区分1に該当する成分濃度が10%以上あるため、区分1に相当。
誤えん有害性：	製品の40°Cでの動粘性率が20.5mm ² /s以上のため、分類対象外。
生じる影響：	・皮膚、眼をわずかに刺激する。繰り返し、長期間の接触は、炎症を起こす可能性がある。
成分の急性毒性：	特になし。

12. 環境影響情報

[GHS分類]	水生環境有害性 短期 (急性) :	混合物として、GHS判定上分類できない。
	水生環境有害性 長期 (慢性) :	混合物として、GHS判定上分類できない。
	生態毒性 :	データなし。
	残留性・分解性 :	データなし。
	生体蓄積性 :	データなし。
	土壌中の移動性 :	データなし。
	オゾン層への有害性 :	モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :	廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例等に基づき焼却するか、許可を受けた処理業者に委託する。ウエス等も同様である。
汚染容器・包装 :	内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

14. 輸送上の注意

国連番号 :	非該当
品名 :	非該当
国連分類 :	非該当
容器等級 :	非該当

「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。
 その他、消防法、船舶安全法等の法令に定める所に従う。
 容器に漏れない事を確かめ、転倒、落下、破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法 :	指定可燃物 (可燃性固体類)
毒物劇物取締法 :	非該当
労働安全衛生法 :	
[表示対象物質]	非該当
[通知対象物質]	すず及びその化合物
[特化則]	非該当
[有機則]	非該当
P R T R法 :	
[第1種指定化学物質]	非該当
[第2種指定化学物質]	非該当

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準 : (日本接着剤工業会) 室内空気質汚染対策のための自主管理規定
 J A I A 0 1 2 5 3 8 F☆☆☆☆

4VOC放散速度基準 :
 日本接着剤工業会自主管理規定 J A I A - 5 0 6 4 2 1 4VOC基準適合

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
 また、記載事項は通常の実用を前提としたものであるため、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献 :

・ 14102の化学商品	化学工業日報社
・ 化学物質の危険、有害便覧	中央労働災害防止協会
・ 知っておきたい職場の化学物質	中央労働災害防止協会
・ GHS対応による混合物 (化学物質) のMSDS作成 手法の研修テキスト (改訂版)	中央労働災害防止協会
・ 製品安全データシートの作成指針	日本化学工業協会